

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和8年
9月号

令和8年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速 報 値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和8年に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く。）は、**死亡者数は0人（前年より1人減）、休業4日以上之死傷者数は116人（前年より17人増）**となっています。

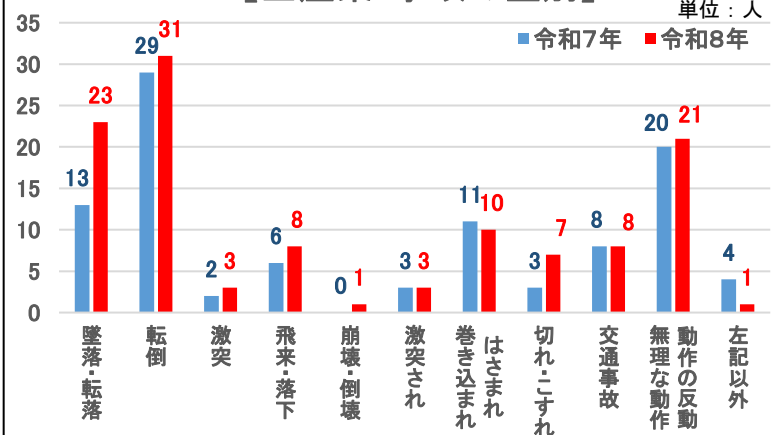
業種別に見ると、製造業が29人（前年より10人増）、小売業が21人（前年より6人増）となっています。

事故の型別では、最も多いのは前年同様「転倒」の31人です。また、件数自体は目立たないものの「切れ・こすれ」が7人と、前年の2倍以上発生しています。安全カバーに不具合がないか確認や、包丁使用時の切創防止手袋の着用可否の検討等を行いましょう。

【令和8年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

	令和7年		令和8年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死傷)	
全業種	1	99		116	+17	+17.2%
製造業		19		29	+10	+52.6%
建設業		10		15	+5	+50.0%
道路貨物運送業		5		4	-1	-20.0%
林業		1		0	-1	-100.0%
小売業		15		21	+6	+40.0%
社会福祉施設		11		16	+5	+45.5%
旅館業		6		5	-1	-16.7%

【全産業・事故の型別】



管内の労働災害事例

【切れ・こすれ 休業4日以上】

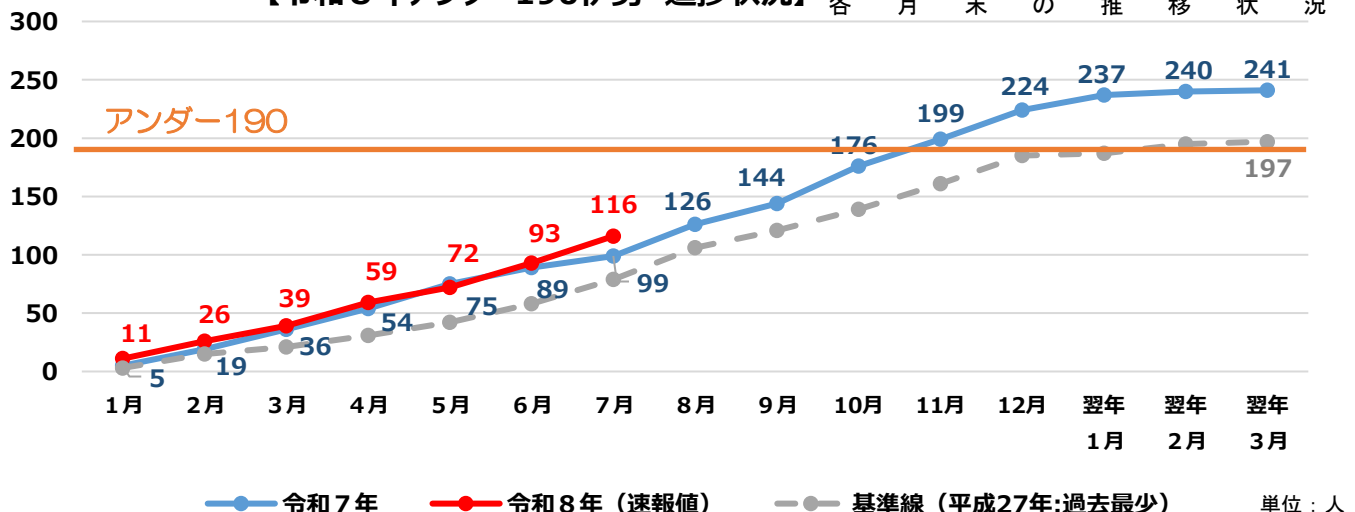
工場内で、鋼材に手持ち式のグラインダーを当てて研磨作業を行っていたところ、グラインダーがはねて、回転しているグラインダーの砥石が作業者の手に接触し負傷した。



(イメージ図)

【令和8年アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



第77回 全国労働衛生週間を実施します！

2026（令和8）年10月1日～7日 [準備期間：9月1日～30日]

「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場環境の改善など『労働衛生』に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として毎年実施している運動です。

全国労働衛生週間スローガン

ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに
みんな生き生き健康職場



詳細はこちら↑
実施要綱【PDF】

準備期間（9月1日～30日）に実施する事項

重点事項をはじめとして、日常の労働衛生活動の総点検を行いましょう

- 労働者の健康の保持増進を図るための取組
- 女性の健康課題への取組
- 治療と就業の両立支援対策
- 職場におけるメンタルヘルス対策
- 過重労働による健康障害防止対策
- 職場の熱中症予防対策の推進
- 小規模事業場における産業保健活動の充実
- 個人事業者等の安全衛生の確保に関する取組
- 化学物質による労働災害に関する取組
- 労働衛生3管理の推進等
- 作業内容や働き方に応じた取組
- 作業環境の特性に応じた取組

全国労働衛生週間（10月1日～7日）に実施する事項

- 事業者または総括安全衛生管理者による職場巡視
- 労働衛生旗の掲揚およびスローガンなどの掲示
- 労働衛生に関する優良職場、功績者などの表彰
- 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症などによる事故など緊急時の災害を想定した実地訓練などの実施
- 労働衛生に関する講習会・見学会などの開催、作文・写真・標語などの掲示
- その他労働衛生の意識高揚のための行事などの実施

実施義務のある各種健康診断

1. 雇入時の健康診断
2. 定期健康診断
3. 特定業務従事者の健康診断（深夜業、塩酸・硝酸・硫酸等取扱い等）
4. 特殊健康診断（有機、特化、鉛、高気圧、四アルキル鉛、電離放射線、石棉等）
5. 歯科健康診断（硝酸・塩酸・硫酸等）
6. じん肺健康診断（粉じん作業従事者）

有所見者に対する医師からの意見聴取

健康診断の結果が原則「異常なし」以外だった場合、産業医（又は地域産業保健センター等）からの意見聴取を行う義務があります。

ストレスチェックの実施

令和10年4月1日から、労働者数にかかわらず、実施が義務化されます。

Check !



お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課

TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

